

「しまね教育の日フォーラム2010」

○「しまね教育の日」

今日の家庭環境や社会的な価値観の変化による地域の教育力の低下、学校教育におけるいじめや学級崩壊など緊急に解決すべき課題に対処していくためには、学校だけでなく、家庭、地域、学校、行政が一体となり、県民総参加で教育に関わっていくべきとの趣旨で、毎年11月1日を「しまね教育の日」、それに続く11月7日までを「教育ウィーク」とされています。

県、市町村教育委員会、学校、教育関係団体等において様々な取組が行われ、昨年度は取組事業件数で約1,200件、延べ33万人が「しまね教育の日」「しまね教育ウィーク」の関連行事に参加しました。

○「しまね教育の日フォーラム2010」

- ・日 時 平成22年11月1日(月) 13:30～16:30
- ・場 所 サンラポーむらくも(松江市殿町)瑞雲の間
- ・主 催 島根県教育委員会、島根県健康福祉部、青少年育成島根県民会議
- ・趣 旨

テーマ 「ふるまい向上を合言葉に」

学校、家庭、地域が連携協力して、「ふるまい向上」の取組がはじまっています。

中学生も、学校、家庭、地域の中でさまざまな人と関わり体験を重ねることで、人とのつながりの大切さや、何気なく過ごしがちな日常の中での思いやりの尊さについて、考えをめぐらせています。

このフォーラムは、県内の中学生の発表を受けて、中学生が考えていることを受けとめるとともに、大人はどのように子どもたちをはぐくむことができるのかについて、「ふるまい」というキーワードをもとに考え、今後の議論や具体的な取り組みにつなげようとするものです。

・プログラム

■開会のあいさつ

■中学生の発表 13:35～14:10

松江市立第一中学校 生徒会の取り組み「こころ♡ほっと運動」について発表

「少年の主張」島根県大会に出場した中学生の中から2名が発表

■パネルディスカッション 14:15～16:20

・コーディネーター 加藤 寿朗 島根大学教育学部教授 ・パネリスト 4名
(島根県内の公民館主事・地域教育関係者・小児科医・県幼稚園PTA連合会長)

・発表をした中学生も参加します

■閉会のあいさつ